

# はじめに

早坂 圭司

(新潟大)

焦りの気持ち

## 物理解析...

- 何度か言っていますが、Belle IIにおける日本グループの物理解析のアクティビティが低いと言わざるを得ません。

# 例の表

- 何度か見せた物理解析の予約の表は多くなってきたので、1ページで俯瞰することはできなくなりました。

なので、調べてみました。

[\(Semi-\)Leptonic and Missing Energy Decays WG](#): 0人

[Charmless Hadronic B\(s\) Decays & Direct CPV](#) : 0人

[Radiative and Electroweak Penguin WG](#): 2+1人

[Hadronic B Decay to Open Charm WG](#): 2人(Karim, Ian)

[Tau/Low Multiplicity/Dark Sectors WG](#): 4+1人

[Charm](#): 0, [Bottomonium](#): 0, [Charmonium](#): 0

[Analysisのページ](#)

# 例の表

- 何度か見せた物理解析の予約の表は多くなってきたので、1ページで俯瞰することはできなくなりました。

なので、調べてみました。

(Semi-)Leptonic and Missing Energy Decays WG: 0人

→ Semi-tauonic B decays sub-group: **5人!**

Charmless Hadronic B(s) Decays & Direct CPV: 0人

Radiative and Electroweak Penguin WG: 2+1人

Hadronic B Decay to Open Charm WG: 2人(Karim, Ian)

Tau/Low Multiplicity/Dark Sectors WG: 4+1人

Charm: 0, Bottomonium: 0, Charmonium: 0

Analysisのページ

# まずは

- <https://lists.belle2.org/sympa/lists>に行って  
関連するメーリングリストに登録しましょう。
- `physics@belle2.org` は必ず登録しましょう。



# そうすると

Physics meeting on June 1 at 1600 JST Belle II/physics x

 **Phillip Urquijo** 5月29日 ☆ < >  
To physics ▾

英語 ▾ > 日本語 ▾ メッセージを翻訳 次の言語で無効にする: 英語 ×

Dear colleagues,

There will be a physics general meeting on Thursday June 1 at 1600 JST.  
<https://speakapp.link/to/KcE39A>

Please let me know if you would like to present a report.

As usual any new studies aiming for presentation at the B2GM should be first discussed at either a working group or physics general meeting. This is the last meeting before the B2GM.

Reminder: The first physics workshop will be held 15-17 June (Thu-Sat) <https://kds.kek.jp/indico/event/24227> . Please register if you are planning to attend in person. A description of each session is given on the front page.

Best regards,  
Phill

こんなメールが来るようになります。

はじめに

2017/6/24

6

# まずは

- Belle II Physics meeting や subgroup meeting に日本人を送り込みたい
- 送るには、解析ができないと話にならん  
→ というわけで本日の解析講習会となりました。  
非常にBasicな点を押さえるにみになりましたが、  
BASF2を扱い始めるという部分の障害が取り除けて  
みなさんが解析を始められることを切に願います。

# ちなみに

- 今日の講習でKEKCCで

```
source /sw/belle2/tools/setup_belle2
```

とする部分は、

```
source /cvmfs/belle.cern.ch/sl6/tools/setup_belle2
```

としても同じです。

そして後者は、各大学でお持ちのクラスターでも通用します。

今日は、exampleのコピーの関係でKEKCCでやってもらいますが、是非各大学のクラスターでも同じことができることを試してみてください。